

医薬品向け混合機のベストセラー!!

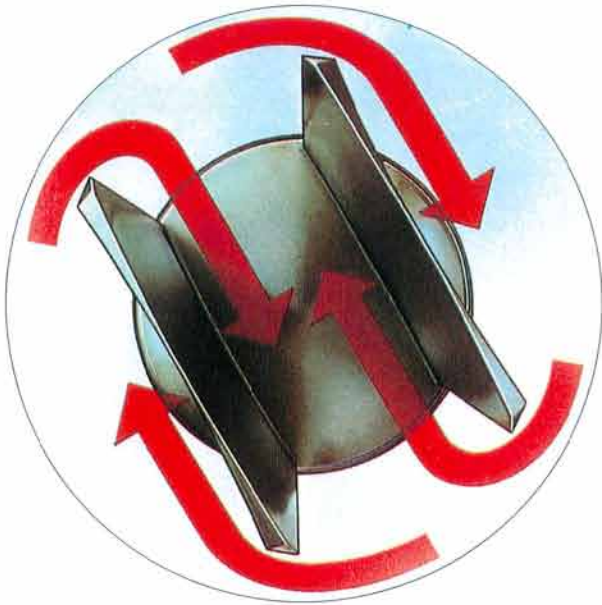


ボーレコンテナミキサーPM1000 & ボーレコンテナMC1000

★特長★

1. コンテナを直接混合容器として使用するため、混合・保管・運搬の3役を兼用可能。
2. 造粒物などの壊れやすい粒子も、穏やかな大きな流れで粒子を壊さずに混合可能。
3. 20%~85%もの高い粉体仕込み率でも、均質な混合を実現。
4. 固定混合羽根をもちいたユニークな混合方式で、短時間で均質な混合が可能。
5. シンプルな構造で部品が少なくメンテナンスが容易。GMP対応の高い洗浄性を実限。
6. 大画面ディスプレイと安全保護装置で、だれでも容易に安全に取り扱い可能。
7. 構造はシンプルに、機械はコンパクトに、2000L機でも3mの天井高さで据付可能。

『すばやく・流れるように』
固定混合羽根が混合のカギです

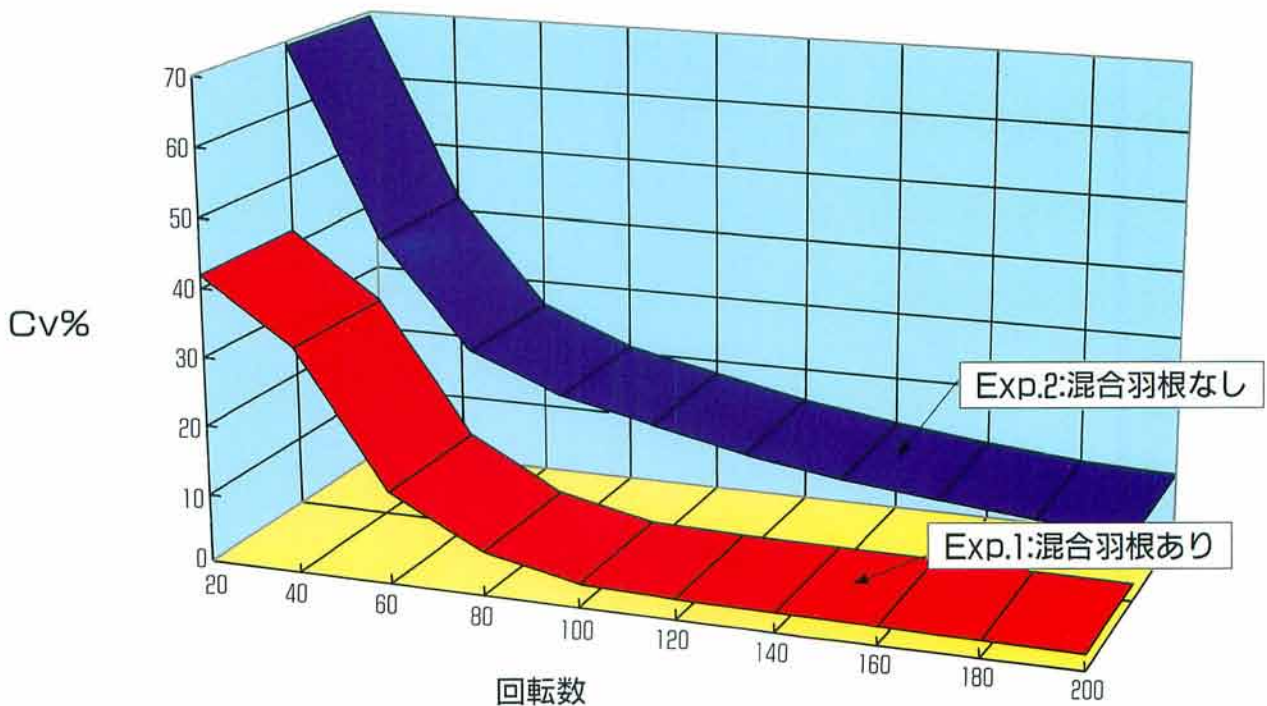


容器回転型混合機は、粉体に剪断力を与えずに穏やかに混合することが可能なことから、造粒物などの混合に使用されてきました。

ところが、従来機では、容器の回転方向に生じる粉体の流れのみで混合を行うので、十分な混合度を得るためには長時間の運転が必要でした。

ポーレコンテナミキサー(PM)では、固定混合羽根を設けることにより、左図のように粉体同士が交差軌道を描き混合します。これにより、極めて短時間で、十分な混合度を得ることができます。

固定混合羽根の有無による混合度の差の実例

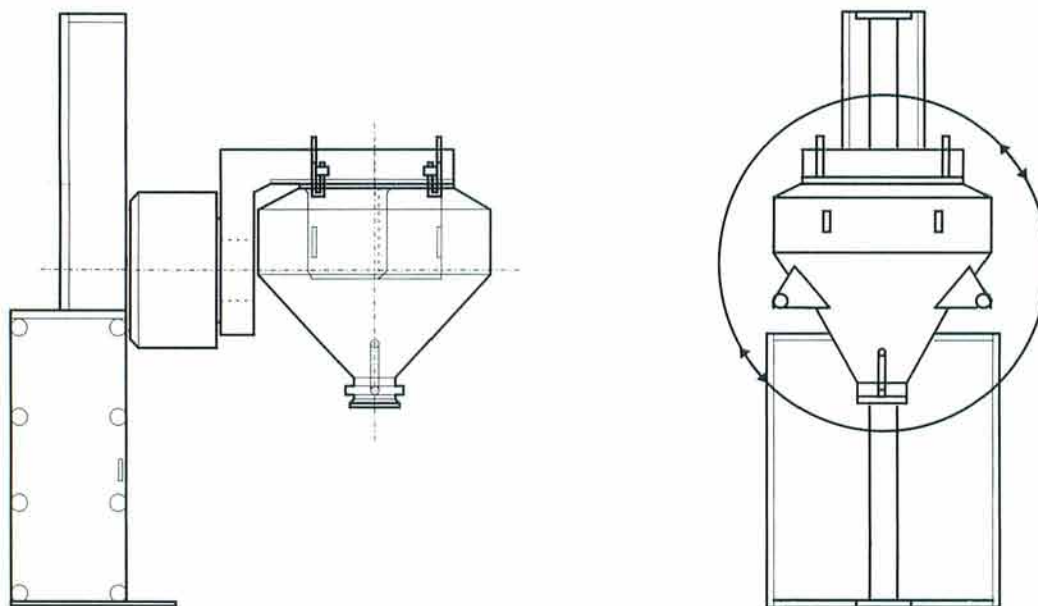


A剤とB剤を以下の割合でポーレコンテナミキサーに投入して混合した。
粉体の色差で、B剤の分散の度合いを判断する方法で、ミキシングプレートを使用した場合と、使用しなかった場合の混合速度を比較した。

テストNo.	ミキシングプレート	粉体装入率	A剤	B剤
EXP1	あり	80%	400kg	4kg
EXP2	なし	80%	400kg	4kg

混合機：ポーレコンテナミキサーPM1000、混合容器：MC1000、回転速度：6rpm

ボールコンテナミキサー 充実のラインナップ



PM	LM20	PM100	PM400	PM1000	PM2000
概略寸法(mm)	635×405×535	800×1425×1260	740×2050×2000	2200×1300×2800	2500×1600×2800
コンテナ容量	MC10 MC20	MC50 MC100	MC200 MC300 MC400	MC400 MC600 MC800 MC1000 MC1200	MC1400 MC1600 MC1800 MC2000
最大負荷重量			400kg	700kg	1,200kg
昇降機構 電動機容量			ボールネジ駆動 0.75kW	ボールネジ駆動 1.5kW	チェーン駆動 2.2kW
混合回転機構 電動機容量	減速機付電動機 0.2kW	減速機付電動機 0.75kW	旋回歯車 1.5kW	旋回歯車 1.5kW	旋回歯車 3.7kW
回転数	0~30rpm	0~22rpm	4~8rpm	4~6rpm	4~6rpm
オプション		チョッパー解砕機構			
		落下防止機構			

機械の改良のため、仕様は予告なく変更することがあります